

【国語科の目標】
(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（52）	二学期（64）	三学期（40）
【4月～5月】 1 広がる学びへ（14） 「見えないだけ」「アイスプラネット」 「枕草子」「魅力的な提案をしよう」 言語1（2）	【8、9月～10月】 4 関わりの中で（16） 「ヒューマノイド」「字のない葉書」 「聞き上手になろう」「表現を工夫して書こう」 言語3（1） 5 論理を捉えて（6） 「モアイは語る」	【1月】 6 いにしえの心を訪ねる（4） 「漢詩の風景」 7 価値を語る（4） 「君は『最後の晩餐』を知っているか」 言語5（2）
【5月～6月】 2 多様な視点から（16） 「クマゼミ増加の原因を探る」「情報を整理して伝えよう」 言語2（2） 文法1（2）	【10月～11月】 適切な根拠を選んで書こう（2） 立場を尊重して話し合おう（2） 言語4（2） 6 いにしえの心を訪ねる（20） 「源氏と平家」「扇の的」「仁和寺にある法師」	【1月～2月】 8 表現を見つめる（10） 「走れメロス」 言語6（2） 文法3（2）
【6月～7月】 3 言葉と向き合う（14） 「短歌に親しむ」「短歌を味わう」 「言葉の力」「語彙を豊かに」 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 読書を親しむ（1）	【11月～12月】 毛筆「書き初め」（8） 百人一首（4） 文法2（1）	【3月】 魅力を効果的に伝えよう（1） 国語の学びを振り返ろう（12） 言語7（1） 話し言葉と書き言葉、送り仮名（1） 各種定期テスト（4）

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準のポイント等
I	＜知識及び技能＞ 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・定期テストの「知識及び技能」の観点 ・授業内ワークシート ・漢字テスト ・文法テスト など	・定期テストの知識及び技能に関する問題についての、達成率の評価。 ・授業の評価についてはワークシート、ノート評価を基本とし、物語、説明文、古典文学など、各ジャンルに応じた基本的な知識を習得しているか、授業内での知識及び技能におけるポイントなどを正しくおさえているかなどを総合的に判断する。 ・年間を通じ、漢字テストを行う。
II	＜思考力・判断力・表現力等＞ 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・定期テストの「思考力、判断力、表現力等」の観点 ・授業内ワークシート ・各種作文 ・発表評価 ・聞き取りテスト など	・定期テストの思考力・判断力・表現力等に関する問題についての、達成率の評価。 ・授業の評価についてはワークシート、ノート評価を基本とし、物語、説明文、古典文学など、各ジャンルに応じた読解を行い、自分なりに思考、判断、表現ができているか、授業内での思考力・判断力・表現力におけるポイントなどを正しくおさえているかなどを総合的に判断する。 ・各種作文は年間を通じて行う。 ・発表評価は声量や表現、聞き取りなどを総合的に判断する。
III	＜主体的に学習に取り組む態度＞ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 [平常点] ・語句の意味調べ ・自主学习 ・各課題 など	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の授業内容における、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする態度。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の授業内容における、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする態度。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする態度。 [平常点] ・通常の授業における学習の準備の活動や、授業中の発言、発表など、積極的に授業に参加したことがうかがえる態度等。